

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

秋吉台 幻の雪景色「焼山隠し」

3月になってこのまま暖かい春になるのかと思いましたが、そんなにうまくはいきません。3日の桃の節句の日は、期待していたもののまさかの雪。秋吉台上はうっすらと雪が積もって雪景色。薄雪ではありますが、いわゆる「焼山隠し」が出現しました。ここぞとばかりにさっそくカメラに収めました。間もなく1時間ほどで融けてしまい、まさに幻の「焼山隠し」となりました。



花も実もある秋吉台

ヒメナズナ アブラナ科の越年草。根生葉のほぼ中ほどから花茎を伸ばして、先の方に白い小さな花を穂状に付けます。かわいい花ですが、荒地や芝生の中などで見られ、数年で大群生となります。

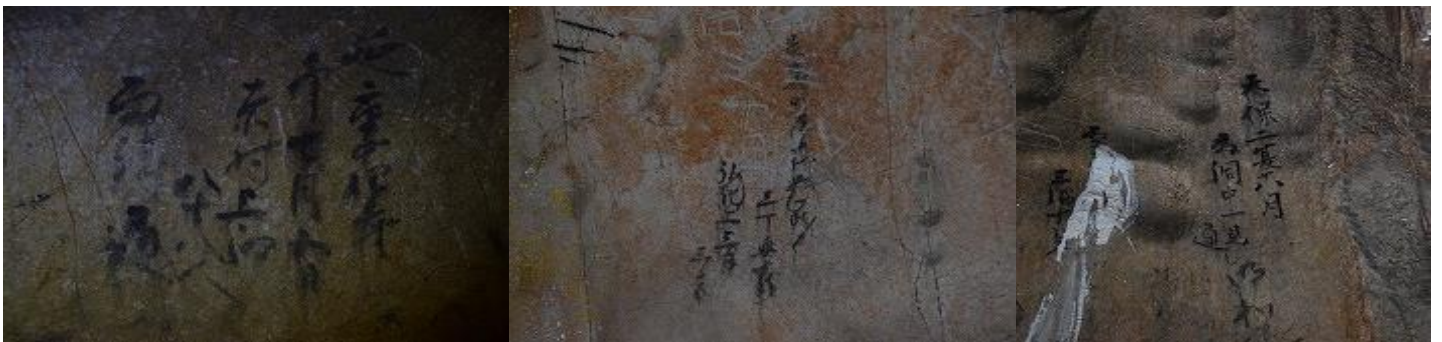
ツルニチニチソウ キョウチクトウ科の常緑の多年草。花は淡い紫色で、緑の葉によく映えます。葉に斑が入る種類も含め共に丈夫で育てやすいため観葉植物として栽培されています。茎はツル状に伸び繁殖力がすこぶる旺盛で、うまく手入れをしないと野生化します。

セイヨウカラシナ アブラナ科の1年草。道路沿いや空き地などに群生していることがあります。花は黄色く菜の花に似ています。やわらかいツボミの頃は、食べることができます。少しほろ苦い味ですが、そこに野趣があると思います。



景清穴「壁書」 観察ツアー参加（3月23日）

景清穴「壁書」観察ツアーに参加しました。景清穴には昔の人々が洞窟の壁に書いた文字がたくさん残っています。その数は江戸時代以前のもも合わせると500か所以上になるそうです。年号など読み取ると、地元の村人たちの「雨乞い」について書かれているものも多く見受けられます。中には肥前長崎、九州肥後などからはるばるやって来た人が書き記したのもあり、洞窟探検や洞窟観光の始まりを思わせます。まだまだ調査しなければなりません、地域の歴史を知るうえで大変貴重なものだと思います。



コショウノキ（胡椒の木）

この時期林の近くを歩いていると、白い花が目立ちます。ジンチョウゲ化の常緑小低木で、高さは約1メートル。葉は革質で厚く、つやがあります。花は小さく白色で、去年の枝先に頭状にまとまって付きます。花には芳香があるそうですが、ジンチョウゲとはまったく違います。果実は夏頃に赤く熟し、噛むとコショウのような辛味があり、名前の由来となっています。花の数の割には結実はあまりよくないようです。



4月の行事

4月 7日(日) 「化石採集体験」(大正洞桜まつり同時開催)

石灰岩に含まれるフズリナなどの化石採集体験を行います。